

乾しいたけ栽培技術情報「ホダ木の冠水対策」 H22-4

7月17日の集中豪雨で被害を受けられた方々に、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りします。

1. 概況と見通し

〔気象〕7月17日の夜に、県北の岩手町、一戸町、葛巻町を中心に集中豪雨が発生しました。一戸町奥中山では10分間に14.5ミリの雨が降り、観測史上の最大値となりました。また、葛巻町でも32.5ミリの1時間降水量が記録されました。（気象庁 アメダスデータ） この集中豪雨で川の氾濫や土砂崩れが発生し、ホダ場にも被害が出ています。

2. 今後の作業ポイント

(1) ホダ木の復旧

ホダ木に付いた泥は、雑菌が繁殖する原因となります。また、この後芽を切ったきのこが生長する過程で、樹皮に付いた泥や砂を噛み込むと、取り除くことが難しく、出荷した際に「異物混入」となる恐れがあります。そこで、散水施設、農業用動噴、車用の洗浄機などを使って、泥を洗い流すようにしてください。ホダ場の状態が悪ければ、伏せ込む場所を移動することも効果的です。なお、生シイタケ用のホダ木（高温菌など）では、冠水、洗浄や移動によりきのこが発生する可能性がありますので、適宜ホダ場を巡回し、今後の発生に注意してください。

(2) 豪雨対策（再掲）

梅雨の末期には、集中豪雨が発生する恐れがあります。道路脇などに井ゲタ積みしたホダ木は、増水時に流されやすいので、豪雨が予想される場合には、ヨロイ伏せにするか、伏せ込み場を安全な場所に移します。なお、荒天時の作業は危険なので、作業は早めに行ないましょう。

○この情報に関するお問合せはこちらまで（岩手県しいたけ産業推進協議会事務局）

林業振興課 電話:019-629-5770 FAX:019-629-5779 E-mail:AF0010@pref.iwate.jp

○この情報を含め、様々な相談はこちらまで

林業技術センター 電話:019-697-1536 FAX:019-697-1410 E-mail:ce0011@pref.iwate.jp